

君津中央公民館
開館 60 周年記念誌



2015—2024

君津中央公民館
君津中央公民館開館 60 周年記念事業実行委員会

記念誌タイトルの由来

君津中央公民館が50周年を迎えた平成27年からのこの10年は、自然災害や新型コロナウイルスで私たちの社会や生活が激変した時代でした。また、「地球沸騰化」の危機、ウクライナとロシア、イスラエルとパレスチナをはじめとする世界の平和を脅かす状況、AIの急激な進展による様々な懸念など、人類共通の深刻な課題が次々と発生する、大変な時代でもあります。

この時代に発行する60年目の記念誌のタイトルとして浮かび上がったのが「変」です。公民館は第二次世界大戦終戦の直後に、平和で豊かな社会と未来を創るという理念をもって誕生しました。その理念はいつの世にも変わらず、むしろ大変な時代にこそ力を発揮すべきものです。人間は世の中を良い方向に変える力も持っています。その力を生む学び合いの場が公民館です。これからの時代を創るために変えていくべきこと、変えてはいけないことを見極め、変幻自在に人々と地域に役立つ公民館を目指す意思をタイトルに込めました。





開館 60 周年を祝して

君津中央公民館開館 60 周年記念事業実行委員会 実行委員長 福島 義人

君津中央公民館は、昭和 39 年 11 月の開館から 60 周年、人間でいえば還暦を迎える記念すべき節目の年となりました。君津中央公民館開館 60 周年記念事業を企画するにあたり、令和 6 年 3 月 21 日に準備会を立ち上げ、記念事業の素案検討を行うための会議を重ねて参りました。令和 6 年 6 月 28 日には、記念事業実行委員会を設立し「文化祭部会」と「記念誌部会」に分け「60 周年記念文化祭」の開催と「記念誌の編集・発行」を決定しました。文化祭の初日に開館 60 周年記念セレモニーを実施し、石井市長はじめ来賓の方々ご臨席のもと、盛り沢山の企画で楽しんでいただきました。また文化祭部会では記念事業の一環として「60 祭 地域に役立て公民館」をテーマに、小さなお子さんから高齢者の皆さんまでが楽しめる発表や体験、舞台発表、催物等を企画し実行しました。記念誌部会では、この 10 年間（平成 27 年～令和 6 年）を振り返り、台風・コロナ禍という外的要因もあり想定外の変化を強いられた背景から、記念誌のタイトルを「変」の一文字とし編集にあたりました。自治会長合同インタビュー、地域有志の皆さんによる座談会等で君津中央公民館や地域の課題を確認し、これからの公民館のあり方について話し合いました。君津中央公民館が地域での集いの場、学びの場として中核的存在となりますよう祈念するとともに、記念誌編集にあたり、実行委員、公民館職員の並々ならぬご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げ、開館 60 周年記念誌発刊にあたっての挨拶とさせていただきます。



開館 60 周年記念誌の発刊にあたり

君津中央公民館 館長 平野 陽一

君津中央公民館は、昭和 39 年に建設されて以来、旧八幡製鐵株式会社の君津進出により、大きく変化していく地域や住民の皆様の暮らしを見つめ、その時々に応じた様々な事業を展開してまいりました。

また、平成 21 年からは「生涯学習交流センター」も併設となり、市民の生涯学習の拠点施設としても様々な事業を展開してまいりました。

本記念誌で記載しておりますこの 10 年は、令和元年房総半島台風による長期にわたる避難所の開設や、新型コロナウイルス感染拡大により、これまで当たり前できていた「つどう」ことができなくなり、公民館の存在意義そのものに大きな影響を及ぼしました。そうした逆境の中でも、オンラインを使った講座の活用や少人数による分散開催など、色々な手法を駆使し、工夫を凝らしながら、「公民館を止めない」との想いのもと、職員一丸となって事業を実施してまいりました。

本記念誌の作成にあたりまして、記念誌部会の方々と検討を重ね、『今後、記念誌を見たときに、「この地域にはこういったことがあって、こういう風にやっていったんだね。」ということがわかるような記録を残したい』といった思いを受け、自治会をはじめとした地域の皆様にもご協力をいただき、地域のことも取り上げながら、今後の記録として活用できるように作成に努めてまいりました。本記念誌が、今後地域の皆様のお役に立てれば幸甚でございます。

結びに、発刊にあたりまして、実行委員長をはじめ記念誌部会の皆様、合同インタビューや座談会等にご協力いただきました地域の皆様に、深く敬意と感謝の意を表し、お礼の言葉とさせていただきます。



君津中央公民館開館 60 周年を祝して

君津市長 石井 宏子

君津中央公民館が開館 60 周年を迎えられ、開館 60 周年記念誌を
発刊されますことを心からお祝い申し上げます。

昭和 39 年に建設された君津中央公民館は、旧八幡製鐵の君津進出
による街の劇的な変化に対応し、新旧住民の交流を図り、豊かな生
活文化の向上を目指しながら、様々な事業を半世紀以上にわたり展開され、この地域の生
涯学習とコミュニティ活動の拠点として大きな役割を果たしてきました。これもひとえに
公民館活動を支えてこられた地域の皆様のご尽力によるものであり、深く敬意を表すると
ともに感謝申し上げます。

現在、君津市では総合計画に掲げる将来都市像「ひとが輝き 幸せつなぐ きみつ」の
実現に向けて、新たなまちづくりを推進しており、公民館の果たす役割は大変重要である
と認識しております。公民館で培われた様々な「学び」や「つながり」が土壌となり、地域
コミュニティが活性化され、「多様な“むすび”により君津の未来を創る」ことができるも
のと考えております。

今後も君津中央公民館が地域の交流の場として、また学びの場として多くの人に愛され、
地域の皆様とともに歩み続け、さらなる発展を遂げていくことを期待しております。

結びに、福島実行委員長をはじめ実行委員の皆様のご尽力に厚く御礼申し上げますと
ともに、君津中央公民館の今後の充実・発展と、地域の皆様のますますのご活躍を祈念申し
上げまして、お祝いの言葉といたします。



開館 60 周年記念誌発刊に寄せて

君津市議会 議長 小倉 靖幸

君津中央公民館開館 60 周年、誠におめでとうございます。
市議会を代表いたしまして、心よりお祝い申し上げます。

君津中央公民館は、昭和 39 年に君津町合併 10 周年記念事業とし
て建設・開館以来、地域に根ざした生涯学習の拠点として、様々な世代の方々に学びと交
流の場を提供し、地域社会の文化の創造やコミュニティの形成に大きな役割を果たしてま
いりました。この間、多くの市民が様々な講座やイベントに参加し、まさに市民の皆様と
ともに成長を遂げてまいりました。このたび開館 60 周年を迎えられましたことは、歴代の
館長様をはじめ関係各位のご尽力の賜であり、心から敬意と感謝を申し上げる次第であり
ます。

さて、近年、公民館をはじめとする社会教育施設には、地域活性化・まちづくりの拠点、
地域の防災拠点等としての役割も強く期待されるようになっており、住民参加による課題
解決や地域づくりの担い手の育成に向けて、地域の皆様の学習と活動を支援する機能を強
化することが求められております。

市議会といたしましても、市民の皆様が、安心して、住み続けられるまちづくりを目指
して全力を傾注して参る所存でありますので、皆様方の変わらぬご支援、ご協力をお願い
申し上げます。

結びに、君津中央公民館並びに当地域のますますの発展を祈念いたしまして、お祝いの
言葉といたします。



君津中央公民館開館 60 周年を祝して

君津市教育委員会 教育長 粕谷 哲也

君津中央公民館が開館 60 周年の節目の年をお迎えになりましたこと、また、開館 60 周年記念誌を発売されますことに、心からお祝い申し上げます。

君津中央公民館は、旧君津町中央公民館として、昭和 39 年に建設され、「公民館は地域の茶の間」のスローガンのもと、公民館を拠点として地域住民の皆様と様々な事業を実践し、成果を出されてこられました。

特に、近年では、令和元年の房総半島台風や新型コロナウイルスなどの影響により、事業のあり方など大きく変化することを余儀なくされましたが、そのような中でも、公民館が大切にしている「つどう・まなぶ・むすぶ」を軸にしながら、地域との「つながり」を念頭に置いた事業を展開され、文化祭特別企画の「超ご近所検定ウルトラクイズ王決定戦」や「ご近助縁日」など地域の皆様と共に作り上げてこられました。

このように地域の状況をつぶさに感じとり、地域の皆様の感じている課題等に対して取り組む姿勢は、君津市の社会教育をけん引する力強い存在として心強く思っております。

結びに、福島実行委員長をはじめとした実行委員の皆様のご尽力に厚く御礼申し上げますとともに、君津中央公民館のなお一層の充実・発展と、地域の皆様のますますのご活躍をご祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

これまで発刊した記念誌

全国優良公民館文部大臣表彰
受賞記念(S47. 2. 16)



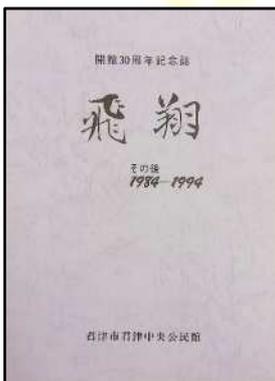
君津中央公民館設立
10 周年記念誌(S50. 3. 1)



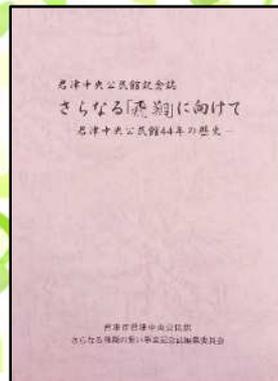
開館 20 周年記念誌
(S59. 12. 28)



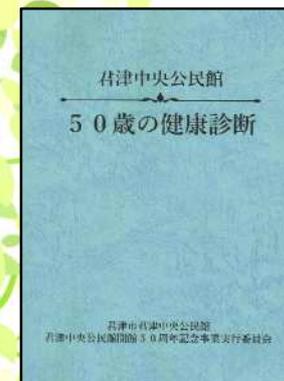
開館 30 周年記念誌
(H6. 11. 12)



君津中央公民館 44 年の歴史
(H21. 3. 31)



開館 50 周年記念誌
(H28. 3. 31)



目 次

ごあいさつ

開館 60 周年を祝して	開館 60 周年記念事業実行委員長 福島 義人
開館 60 周年記念誌の発刊にあたり	君津中央公民館 館長 平野 陽一
君津中央公民館開館 60 周年を祝して	君津市長 石井 宏子
開館 60 周年記念誌発刊に寄せて	君津市議会 議長 小倉 靖幸
君津中央公民館開館 60 周年を祝して	君津市教育委員会 教育長 粕谷 哲也

第 1 章 君津中央公民館 10 年史（平成 27 年度～令和 6 年度） . . . 3

第 2 章 地域の移り変わり

第 1 節 地域の人々の交流・つながり	15
コラム① 開館 60 周年に寄せて	20
第 2 節 子育て環境	21
コラム② コミュニティ・スクールの拠点として	22
コラム③ 閉園する 3 園の「思い出写真展」	23
第 3 節 ふるさとの文化・自然	24
コラム④ 温かいふれあいと成長の場	27
第 4 節 暮らしの様子	27

第 3 章 君津中央公民館の移り変わり

第 1 節 公民館運営の変遷	33
第 2 節 主催事業	34
コラム⑤ 子育て中の保護者の学びを支える公民館保育	37
第 3 節 利用団体	48
第 4 節 地域との関わり	48
第 5 節 台風、コロナの影響	50

第 4 章 地域と災害 57

第 5 章 座談会「地域に役立つ公民館にむけて」 81

第 6 章 資料編

・公民館関係条例・規則	101
・公民館運営審議会委員・職員一覧	109
・君津中央公民館 主要刊行物	109
・君津中央公民館区人口推移・利用者数の推移	110
・君津中央公民館開館 60 周年記念事業	111
・記念誌部会 部会員一覧	113
・編集後記	113

本記念誌の対象区域について

本記念誌では様々な地域の団体を紹介しますが、対象としている地域が異なるため、下記の通り、表にて整理した。また、君津中央公民館区域は条例に定められているが（101ページ参照）、実際には、周西南中学校区、貞元小学校区を対象に事業を実施していることが多いため、本記念誌では下記の表の太枠内を「地域」として記載します。

【対象区域図】



本 君 津 中 央 公 民 館 区 域	周西南中学校区	中野、中野1丁目、中野2丁目、中野3丁目、中野4丁目、中野5丁目、中野6丁目、久保、久保1丁目、久保2丁目、久保3丁目、久保4丁目、久保5丁目、南久保1丁目、南久保3丁目、北久保1丁目、北久保2丁目、陽光台1丁目、陽光台2丁目、南久保2丁目、陽光台3丁目、台1丁目、台2丁目、高坂、中富飛地（870番～1054番）、大和田4丁目、大和田5丁目、人見の一部（1710～1712番）人見2丁目の一部（1番3号）
	君津中地区区	貞元、八幡、新御堂、杉谷、郡、郡1丁目、郡2丁目、郡3丁目、小香、上湯江、下湯江、中富（870～1054番地を除く。）、中野飛地、下湯江飛地
	南子安小学校	柰師1丁目、柰師2丁目、柰師3丁目、柰師4丁目、南子安1丁目、南子安2丁目、南子安3丁目、南子安4丁目、南子安5丁目、南子安6丁目、南子安7丁目
	北子安小学校	北子安、北子安1丁目、北子安2丁目、北子安3丁目、北子安4丁目、北子安5丁目、久保飛地、畑沢飛地（南張作）、北子安6丁目